

日に見に行つた。が、堤防上は、屋一の跡を15何もなく、井手町にも大きな変化はなかった。

▼当時、山手の池堤防が崩れ、堤防で水が止まり町中が湖一状になつた姿は想像も出来ない。▽あの頃、不正を暴いたビラ配布中（土曜日の若衆に取り囲まれ怖い目に会つた場所を探した）が判らなかつたが、玉川堤防の桜の木は元気だつた。

▼私は、歳を重ねて頭は白髪、肌はカサカサに変わつており、羨ましく思いつつ花の無い桜木を愛でた。川は、昔と同じく水嵩は少ないが、水は綺麗だ。

▽帰途、木津川堤防上の24号線西側京都寄りに当時、大樹が茂り、その下の祠を、組織の秘密ポストらしい思い出の場所だつたが、大樹は既に無かつた。

▼国道沿い木津川の砂原が見え、連鎖で、木津川八幡水泳場で、溺れ死にそうになつた12歳頃を思い出す。その時、私を懸命に助けしてくれたのが修（オサム）ちゃん。その顔が浮かんた。

▽彼は2歳上で、当時、兄の様に慕い、良く遊んで呉れた人。宇治に住んでいた頃は、醍醐に住むその人と、通勤の行帰りによく出会つた。が、随分ご無沙汰していると思つた。

▼帰宅して直ぐに、『酒』を土産に、醍醐のお宅に伺い、玄関を開けた。奥さんが出て来られ、ご主人はさとお尋ねしたら、ごめんなさい6ヶ月前急死、葬儀は身内のみでと告げられ驚く。▽奥さんは、私と修ちゃんの付き合いを、よくご存知ないのだ。修ちゃんも、知らせたかつたのだらう。彼のお陰で、私の命が今も有るのに！

▼修ちゃんのご位牌に、おききに！と呟き手を合わせた。周り併せの不思議に驚いた敗戦記念日8月15日である。明日は、大文字の日。ご冥福を祈り、もう一度、66612と。

私が、この言葉を
聞いたのは、国民
学校2年生頃。

行われる仏事である。

行われる仏事である。
炭山は、六地藏から伏
見区日野經由で「長坂
峠」を越え、やつと着く
山村、電気も通つてな
く、戦後昭和24年迄、

行われる仏事である。
炭山は、六地藏から伏見区日野經由で「長坂峠」を越え、やつと着く山村、電気も通つてなく、戦後昭和24年迄、

た。お陰で、虚弱児だった私は、風邪も挽かない丈夫な子になった。

当時は、電気は無い村でラジオは聞けず、新聞は、(3日 度品達) 情報が判らず、西側の山越しに見えろ、空が赤く染まると、京都が空襲されている

た。お陰で、虚弱児だった私は、風邪も挽かない丈夫な子になった。當時は、電気は無い村でラジオは聞けず、新聞は、(3日 度配達) 情報が判らず、西側の山越しに見える空が赤く染まると、京都が空襲されているのは、幾度も心配をした。

た。お陰で、虚弱児だった私は、風邪も挽かない丈夫な子になった。

当時は、電気は無い村でラジオは聞けず、新聞は、(3日 鷹配達) 情報が判らず、西側の山越しに見える空が赤く染まると、京都が空襲されているのではと幾度も心配をした。

その戦争中も、規模は小さく、つたが「施餓鬼」は続き、祖父母が来る」の心待ちにしていた。そこへ、祖父の病氣

た。お陰で、虚弱児だった私は、風邪も挽かない丈夫な子になった。

当時は、電気は無い村でラジオは聞けず、新聞は、(3日 馬場達) 情報が判らず、西側の山越しに見える 空が赤く染まると、京都が空襲されているのではと幾度も心配をした。

その戦争中も、規模は小さくなったが「施餓鬼」は続き、祖父母が来る「この心待ちにしていた。そこへ、祖父の病氣伝えられ、京都の帰宅、敗戦放送」を聞いた。病床の祖父は、天皇陛下の申訳ない」と涙したが、敗戦後の九月二

た。お陰で、虚弱児だった私は、風邪も挽かない丈夫な子になった。

当時は、電気は無い村でラジオは聞けず、新聞は、(3日 度) 情報に判らず、西側の山越しに見える、空が赤く染まると、京都が空襲されているのではと幾度も心配をした。

その戦争中も、規模は小さくなったが「施餓鬼」は続き、祖父母が来る「の心待ち」にしていた。そこへ祖父の病氣伝えられ、京都の帰宅、敗戦放送」を聞いた。病床の祖父は、天皇陛下下の申訳ない」と涙したが、戦後の九月二日私は疎開から帰れるので嬉しかった。その年の「施餓鬼」は、さすがに行われなかった。

近年になって、お寺の裏山の墓地から、村を出て京・大阪に住む人等のお

た。お陰で、虚弱児だった私は、風邪も挽かない丈夫な子になった。當時は、電気は無い村でラジオは聞けず、新聞は、(3日 度配達) 情報が判らず、西側の山越しに見える空が赤く染まると、京都が空襲されているのではと幾度も心配をした。

その戦争中も、規模は小さくなったが「施餓鬼」は続き、祖父母が来るの心待ちにしていた。そこへ祖父の病氣伝えられ、京都の帰宅、敗戦放送^二を聞いた。病床の祖父は、天皇陛下下の申訳ない^一と涙したが、^{略戦後の九月二日}私は疎開から帰れるので嬉しかった。その年の「施餓鬼」は、さすがに行われなかった。と。

近年になつて、お寺の裏山の墓地から、村を出て京・大阪に住む人等のお墓が減り「施餓鬼」に参加の人も激減

た。お陰で、虚弱児だった私は、風邪も挽かない丈夫な子になった。

当時は、電気は無い村でラジオは聞けず、新聞は、(3日 鷹島達) 情報が判らず、西側の山越しに見える 空が赤く染まると、京都が空襲されているのではと幾度も心配をした。

その戦争中も、規模は小さくなったが「施餓鬼」は続き、祖父母が来る「の心待ちにしていた。そこへ、祖父の病気を聞いた。病床の祖父は、天皇陛下の申訳ない」と涙したが、**敗戦後の九月二日** 私は疎開から帰れるので嬉しかった。その年の「施餓鬼」は、さすがに行われなかった。と。

近年になつて、お寺の裏山の墓地から、村を出て京・大阪に住む人等のお墓が減り「施餓鬼」に参加の人も激減した。今でも不便な所だからだが、私は、子や孫に、先祖の墓地は、絶対に動かすな!」と言っている。

た。お陰で、虚弱児だった私は、風邪も挽かない丈夫な子になった。

当時は、電気は無い村でラジオは聞けず、新聞は、(3日 馬場達) 情報が判らず、西側の山越しに見える 空が赤く染まると、京都が空襲されているのではと幾度も心配をした。

その戦争中も、規模は小さくなったが、施餓鬼は続き、祖父母が来る「の心待ちにしていた。そこへ、祖父の病氣伝えられ、京都の帰宅、敗戦放送」を聞いた。病床の祖父は、天皇陛下下の申訳ない」と涙したが、**敗戦後の九月一日** 私は疎開から帰れるので嬉しかった。その年の「施餓鬼」は、さすがに行われなかった。？」

近年になつて、お寺の裏山の墓地から、村を出て京・大阪に住む人等のお墓が減り、施餓鬼に参加の人も激減した。今でも不便な所だからだ。が、私は、子や孫に、先祖の墓地は、絶対に動かすな！」と言っている。

何のために、何故この様な山奥の土地に、住み着いたかは判らないが、芥川龍之介「鼻」のモデルの僧 禅陳

た。お陰で、虚弱児だった私は、風邪も挽かない丈夫な子になった。

当時は、電気は無い村でラジオは聞けず、新聞は、『**三日 萬葉達**』情報が判らず、西側の山越しに見える空が赤く染まると京都が空襲されているのではと幾度も心配をした。

その戦争中も、規模は小さくなったが、施餓鬼は続き、祖父母が来る「の心待ちにしていた。そこへ祖父の病氣伝えられ、京都の帰宅、敗戦放送」を聞いた。病床の祖父は、天皇陛下下の申訳ないで涙したが、**敗戦後の九月一日**私は疎開から帰れるので嬉しかった。その年の施餓鬼は、さすがに行われなかった。？」

近年になつて、お寺の裏山の墓地から、村を出て京・大阪に住む人等のお墓が減り、施餓鬼に参加の人も激減した。今でも不便な所だからだ。が、私は、子や孫に、先祖の墓地は、絶対に動かすな！と言っている。

何のために、何故この様な山奥の土地に、住み着いたかは判らないが、芥川龍之介「鼻」のモデルの僧「禅陳内供」が、隣村「池尾」の寺に居たのだから、その前から、人々が住んで居たのは確か。だから軽々に、お墓は、動かすべきでないと思うのが：

石動敬子

石動敬子 身長が1m縮んでシヨツ

石動弘子 （現・女優） 俳句に夢中の20年と
の長さ、といえはいいの
として、身長が1（160）センチ
で、少なからずシヨッ
これが、成り行きでダンスス
ポ―
以来、姿勢は最も大事
り、心がけてきました。
うに思えたほどに。
割合、順調なので目下、
リンク剤も服用していま

石動弘子 （原） れたこの
俳句に夢中の20年と
の長さ、といえはいいの
として、身長が1（縞）繻んで
これが、少なからずショッ
成り行きでダンススポー
て以来、姿勢は最も大事
に、心がけてきました。
うに思えたほどに。
割合、順調なので目下、
リンク剤も服用していま
の、数カ月は咳き込むこ
難儀しました。熱はなく、
日ほどで、消えました。
怖い病気ではなかった
園科の治療や、黄砂が気
したのか、息を吸おうと
込むのには往生しました。
声帯も老化を免れず、歌
一の大学OB合唱団やこ

石動弘子 元・この
俳句に夢中の20年と
の長さ、といえはいいの
で、身長が1メートル縮んで
これが、少なからずシヨツ
成り行きでダンススポー
以来、姿勢は最も大事
い、心がけてきました。
うに思えたほどに。
割合、順調なので目下、
リンク剤も服用していま
の、数力月は咳き込むこ
難儀しました。熱はなく、
日ほどで、消えました。
怖い病気ではなかった
園科の治療や、黄砂が気
したのか、息を吸おうと
込むのには往生しました。
戸帯も老化を免れず、歌
の二の大学OB合唱団やこ
以前にも
書いたこと
があるが、
甘い、甘い、

石動弘子 （現） れたこの俳句に夢中の20年との長さ、といえはいいのとして、身長が1メートル縮んでこれが、少なからずショックに思えたほどに。

成り行きでダンススボー以来、姿勢は最も大事に、心がけてきました。うに思えたほどに。

割合、順調なので目下、リンク剤も服用していまの、数カ月には咳き込むこともほとんど消えました。熱はなく、怖い病気ではなかった園科の治療や、黄砂が気になったのか、息を吸おうと込むのは往生しました。戸帯も老化を免れず、歌二の大学OB合唱団やこ

志策・⑭

庭智薫史

以前にも書いたことがあるが、甘い、甘い、あまざー

歩く、江戸時代の甘の風物詩だったという。屋で1年中自家製の

成り行きでダンススボー
 以来、姿勢は最も大事
 い、心がけてきました。
 うに思えたほどに。
 割合、順調なので目下、
 リンク剤も服用していま
 の、数カ月は咳き込むこ
 難儀しました。熱はなく、
 日ほどで、消えました。
 怖い病気ではなかった
 園科の治療や、黄砂が気
 したのか、息を吸おうと
 込むのには往生しました。
 戸帯も老化を免れず、歌
 二の大学OB合唱団やこ
 以前にも
 書いたこと
 があるが、
 甘い、甘い、
 あまーざー
 歩く、江戸時代の甘
 の風物詩だったという
 屋で1年中自家製の
 の甘酒を飲ませてくれる
 ところがある。末富亭
 という甘酒だけの店。
 御産婆池の前を通つて
 登る北側の裏参道沿

石動弥子 れたこの俳句に夢中の20年との長さ、といえはいいのとして、身長が1糺纏こんでこれが、少なからずシヨツ成り行きでダンススボー以来、姿勢は最も大事に、心がけてきました。うに思えたほどに。

割合、順調なので目下、リソク剤も服用していまの、数カ月には咳き込む日ほどで、消えました。怖い病気ではなかった園科の治療や、黄砂が氣にしたのか、息を吸おうと込むのは往生しました。戸帯も老化を免れず、歌二の大学OB合唱団やこ

忠策・14

以前にも書いたことがあるが、甘い、甘い、あまーざー

歩く、江戸時代の甘の風物詩だったという。屋で1年中自家製の甘酒を飲ませてくれるところがある。末富亭という甘酒だけの店。御産婆池の前を通じて登る北側の裏参道沿食品ブームもあつてか、ているという。外人観の気が高いという。この続く日々であるが、お出亭での女将さんとの話ではない。しかし甘酒の話で亭は昔から甘酒屋を

石動弘子 れたこの俳句に夢中の20年との長さ、といえはいいのとして、身長が1メートル縮んでこれが、少なからずショックに思えたほどに。

成り行きでダンススボー以来、姿勢は最も大事に、心がけてきました。うに思えたほどに。

割合、順調なので目下、リシク剤も服用していまの、数カ月には咳き込む日ほどで、消えました。怖い病気ではなかった園科の治療や、黄砂が気したのか、息を吸おうと込むのは往生しました。戸帯も老化を免れず、歌二の大学OB合唱団やこ

志策・14 以前にも書いたことがあるが、甘い、甘い、あまーざー

歩く、江戸時代の甘の風物詩だったという。屋で1年中自家製の甘酒を飲ませてくれるところがある。末富亭という甘酒だけの店。御産婆池の前を通じて登る北側の裏参道沿食品ブームもあってか、食が高いという。外人観の続く日々であるが、お出亭での女将さんとの話ではない。

女将さんとの話の発端ように出された甘酒のを入れた小皿の話題古くから使われていた

一杯と思つてきたのでしたが、ある演奏会で目にしたチラシ、ダッタン人の踊り」ボロアインや、白き王女のためのパヴァーニ、ベル・エポール、バッハ、モルダウ、スメタナなどの名曲をオーケストラの伴奏で歌えるなんて外国の曲を原語でうたうのは当然としても、お一人で、編曲し、日本語に訳し、合唱の指導もオーケストラの指揮もされるのですから、驚くべき能力、仕事量です。早速、旧友へ誘ひ、冬、春、夏、秋と7カ月間一

一杯と思つてきたのでしたが、ある演奏会で目にしたチラシ「タン人の踊り」ボロアインや亡き王女のためのパヴァーヌベル ヨラール バッハ モルダウ（スメタナ）などの名曲をオーケストラの伴奏で歌えるなんて。外国の曲を原語でうたうのは当然として、お一人で、編曲し、日本語に訳し、合唱の指導もオーケストラの指揮もされるのですから、驚くべき能力、仕事量です。早速、旧友を誘い、冬、春、夏、秋と7カ月週一のレッスンに通いました。実は16年前、ご指導いただいたことがありました。21世紀を迎えようとしていた、西暦千年の大晦日、京都市役所前で、五百人で「第九」を歌ったのですが、3か月間のレッスンは当日も、葛西進先生でした。当時高校生だった息子もわが職場の同僚と共に、つい最近、勤労者音楽

一杯と思つてきたのでした。がある演奏会で目にしたチラシ、タン人の踊り」ボロアインや亡き王女のためのパヴァーヌベル ヨーラー バッロ モルダウ」オメタナなどの名曲をオーケストラの伴奏で歌えるなんて外国の曲を原語でうたうのは当然としても、お一人で、編曲し、日本語に訳し、合唱の指導もオーケストラの指揮もされるのですから、驚くべき能力、仕事量です。早速、旧友を誘ひ、冬、春、夏、秋と7カ月週一のレッスに通いました。実は16年前、ご指導いただいたことがありました。21世紀を迎えようとしていた、西暦、千年の大晦日、京都市役所前で、五百人で「第九」を歌ったのですが、3か月間のレッスンは当日も、葛西進先生でした。当時高校生だった息子もわが職場の同僚と共に、つい最近、勤労者音楽小皿のようであるが、私はこの皿に目が留まったのである。富士山と千鳥が3羽描かれている。裏にはCHIDORI ZUKUJI JAPAN とある。

一杯と思つてきたのでしたが、ある演奏会で目にしたチラシ、タン人の踊り」ボロアインや亡き王女のためのパヴァーヌベル ヨラール バッム マルダウ」スメタナなどの名曲をオーケストラの伴奏で歌えるなんて外国の曲を原語でうたうのは当然としても、お一人で編曲し、日本語に訳し、合唱の指導もオーケストラの指揮もされるのですから、驚くべき能力、仕事量です。早速、旧友を誘い、冬、春、夏、秋と7カ月週一のレッスンに通いました。実は16年前、ご指導いただいたことがありました。21世紀を迎えようとしていた、西暦千年の大晦日、京都市役所前で、五百人で「第九」を歌ったのですが、3か月間のレッスンは当日も、葛西進先生でした。当時高校生だった息子もわが職場の同僚と共に、つい最近、勤労者音楽小皿のようであるが、私はこの皿に目が留まったのである。富士山と千鳥が3羽描かれている。裏には CHIDORI ZUKUSI JAPAN とある。おそらく輸出用にも作られたものであろう。わたしはしげしげと眺めていたが女将さんはこの皿は特別に値打ちのあるものではありませ

一杯と思つてきたのでした。が、ある演奏会で目にしたチラシ、ダッタン人の踊り」ボムアインや、亡き王女のためのパヴァーヌ、ベルゴラール、モモルダウ」オメタナ」などの名曲をオーケストラの伴奏で歌えるなんて外国の曲を原語でうたうのは当然としても、お一人で、編曲し、日本語に訳し、合唱の指導もオーケストラの指揮もされるのですから、驚くべき能力、仕事量です。早速、旧友を誘ひ、冬、春、夏、秋と7カ月週一のレッスに通いました。実は16年前、ご指導いただいたことがありました。21世紀を迎えようとしていた、西暦、千年の大晦日、京都市役所前で、五百人で「第九」を歌ったのですが、3か月間のレッスンも当日も、葛西進先生が職場の当時高校生だった息子もわが職場の同僚と共に、つい最近、勤労者音楽

小皿のようであるが、私はこの皿に目が留まったのである。富士山と千鳥が3羽描かれている。裏にはCHIDORI ZUKSI JAPAN とある。おそらく輸出用にも作られたものであらう。わたしはしげしげと眺めていたが女将さんはこの皿は特別に値打ちのあるものではありませんよ。この皿は昔宿屋をやつた時に使つたもので、とても思い出深いものですよ。宿屋は母が中心にやつていたのですが私も手伝つていました。昭和55年くらいまでやつ

一杯と思つてきたのでしたが、ある演奏会で目にしたチラシ、ダッタン人の踊り」ボブ・ディーンや亡き王女のためのパヴァーヌ、ベル・ゴラール、バッド・モラル・ダウ」(スメタナ)などの名曲をオーケストラの伴奏で歌えるなんて外国の曲を原語でうたうのは当然としても、お一人で編曲し、日本語に訳し、合唱の指導もオーケストラの指揮もされるのですから、驚くべき能力、仕事量です。早速、旧友を誘い、冬、春、夏、秋と7カ月週一のレッスンに通いました。実は16年前、ご指導いただいたことがありました。21世紀を迎えようとしていた、西暦千年の大晦日、京都市役所前で、五百人で「第九」を歌ったのですが、3か月間のレッスンは当日も、葛西進先生でした。当時高校生だった息子もわが職場の同僚と共に、つい最近、勤労者音楽小皿のようであるが、私はこの皿に目が留まったのである。富士山と千鳥が3羽描かれている。裏にはCHIDORI ZUKUJI JAPAN とある。おそらく輸出用にも作られたものであろう。わたしはしげしげと眺めていたが女将さんは、この皿は特別に値打ちのあるものではありません。この皿は昔宿屋をやつた時に使つたもので、とても思い出深いものです。宿屋は母が中心にやつていたのですが私も手伝つていました。昭和55年くらいまでやつていました」と。これらの小皿に料理を並べましてね、御膳3段くらいを抱えてこの階段を運んだものです。2階がご部屋なんですが20人くらい雑魚寝状態も良くありました。当時のお客さんはよくお酒を飲まれましたね。お稲荷さんへの参拝のお客さん相手の宿屋ですからね。夜参りのお客さんが夜中

一杯と思つてきたのですが、ある演奏会で目にしたチラシ、タンの踊り」ボブ・ディーンや亡き王女のためのパヴァーヌのベル・ゴラール」バッド・マールダウ」スメタナ」などの名曲をオーケストラの伴奏で歌えるなんて外国の曲を原語でうたうのは当然としても、お一人で編曲し、日本語に訳し、合唱の指導もオーケストラの指揮もされるのですから、驚くべき能力、仕事量です。早速、旧友を誘い、冬、春、夏、秋と7カ月週一のレッスンに通いました。実は16年前、ご指導いただいたことがありました。21世紀を迎えようとしていた、西暦千年の大晦日、京都市役所前で、五百人で「第九」を歌ったのですが、3か月間のレッスンは当日も、葛西進先生でした。当時高校生だった息子もわが職場の同僚と共に、つい最近、勤労者音楽小皿のようであるが、私はこの皿に目が留まったのである。富士山と千鳥が3羽描かれている。裏にはCHIDORI ZUKUJI JAPAN とある。おそらく輸出用にも作られたものであろう。わたしはしげしげと眺めていたが女将さんは「この皿は特別に値打ちのあるものではありませんよ。この皿は昔宿屋をやつた時に使つたもので、とても思い出深いものですよ。宿屋は母が中心にやつていたのですが私も手伝つていました。昭和55年くらいまでやつていました」と。これらの小皿に料理を並べましてね、御膳3段くらいを抱えてこの階段を運んだものです。2階が部屋なんですが20人くらい雑魚寝状態も良くありました。当時のお客さんはよくお酒を飲まれましたね。お稲荷さんへの参拝のお客さん相手の宿屋ですからね。夜参りのお客さんが夜中に山から降りて来られましてね、足洗の宴会が夜を徹して続きましてたね」と当時をなつかしそうに語っていた。

評にも注目したものでした。勤勞者音楽祭^①は、学生時代に参加していたこともあつて、息の長い文化運動の底力を見たように思われました。大変に思へた曲の暗譜も何とか、間に合ひ、予定通り、演奏会の日を迎えました。庭の朝顔も、おめでとつ」と3輪も咲いてくれました。

個人的にはそんなふうだし、オリンピックも結構で、残暑もやがて爽やかな季節に、と思われるのですが、かの「戦争法強行」以来、1年近く、ますます、二の國のこまるどころ

評にも注目したものでした。勤勞者音楽祭は、学生時代に参加していたこともあつて、息の長い文化運動の底力を見たように思われました。大変に思へた曲の暗譜も何とか、間に合い、予定通り、演奏会の日を迎えました。庭の朝顔も、おめでとう」と3輪も咲いてくれました。

個人的にはそんなふうだし、オリンピックも結構で、残暑もやがて爽やかな季節にと思われるのですが、かの「戦争法強行」以来、一年近く、ますます、この国のつまるどころ原発イエス」の政治が、危うく思われてならないのです。

一見、悪くない、この国の見えない深層部から秋風が生まれています。輝く川面に夢を乗せて

我らの未来に光とともす川よ
われらの川よ

平和を守り、悠久の時を
流れゆく流れゆく、モルダウより

評にも注目したものでした。勤勞者音楽祭^{（一）}は学生時代に参加していたこともあつて、息の長い文化運動の底力を見たように思われました。大変に思えた曲の暗譜も何とか間に合ひ、予定通り、演奏会の日を迎えました。庭の朝顔も、おめでとうと3輪も咲いてくれました。個人的にはそんなふうだし、オリピックも結構で、残暑もやがて爽やかな季節に、と思われるのですが、かの「戦争法強行」以来、1年近く、ますます、この国のつまるところ原発イェス^{（二）}の政治が、危うく思われねならないのです。一見、悪くない、この国の見えない深層部から秋風が生まれています。輝く川面に夢を乗せて、我らの未来に光とめず川よ、われらの川よ。平和を守り、悠久の時を流れゆく流れゆく、モルダウより）

明治の頃末富亭は、大おぼあさんの代に中書島からここに移つてきたのですとのことだ。察するに、江戸時代に繁栄した伏見港に、明治二人の定例の台更（成）

評にも注目したものでした。勤勞者音楽祭は学生時代に参加していたこともあつて、息の長い文化運動の底力を見たように思われました。大変に思えた曲の暗譜も何とか間に合い、予定通り、演奏会の日を迎えました。庭の朝顔も おめでとう」と輪も咲いてくれました。

個人的にはそんなふうだし、オリンピックも結構で、残暑もやがて爽やかな季節にと思われるのですが、かの戦争法強行以来、一年近く、ますます、この国のつまるところ原発イエスの政治が、危うく思われてならないのです。

一見、悪くない、この国の見えない深層部から秋風が生まれていきます。輝く川面に夢を乗せて

我らの未来に光とともす川よ
われらの川よ

平和を守り 悠久の時を
流れゆく流れゆく モタウより

明治の頃末富亭は、大おぼあさんの代に中書島からここに移ってきたのです」とのことだ。察するに、江戸時代に繁栄した伏見港が、明治に入り淀川の船便が減り衰退していったあおりで、末富亭も新天地を求め、この稻荷山で参拝客相手の宿屋を始めたのであろう。

評にも注目したものでした。勤勞者音楽祭」は学生時代に参加していたこともあつて、息の長い文化運動の底力を見たように思われました。大変に思えた曲の暗譜も何とか間に合い、予定通り、演奏会の日を迎えました。庭の朝顔も、おめでとうと3輪も咲いてくれました。個人的にはそんなふうだし、オリピックも結構で、残暑もやがて爽やかな季節に、と思われるのですが、かの「戦争法強行」以来、1年近く、ますます、この国のつまるところ原発イェス」の政治が、危うく思われなくてはならないのです。一見、悪くない、この国の見えない深層部から秋風が生まれています。輝く川面に夢を乗せて、我らの未来に光とともす川よ、われらの川よ、平和を守り、悠久の時を流れゆく流れゆく、モルダウより）

明治の頃末富亭は、大おぼあさんの代に中書島からここに移つてきたのです」とのことだ。察するに、江戸時代に繁栄した伏見港が、明治に入り淀川の船便が減り衰退していったあおりで、末富亭も新天地を求め、この稻荷山で参拝客相手の宿屋を始めたのであろう。近世になると行楽を目的に名山・霊場などへ集団参拝するためのものとして講が生まれた。稻荷山にある十数軒の茶店はほとんどがその昔は旅館業も営んでいた。全国

評にも注目したものでした。勤勞者音楽祭は、学生時代に参加していたこともあつて、息の長い文化運動の底力を見たように思われました。大変に思えた曲の暗譜も何とか、間に合ひ、予定通り、演奏会の日を迎えました。庭の朝顔も、おめでとう」と3輪も咲いてくれました。

個人的にはそんなふうだし、オリンピックも結構で、残暑もやがて爽やかな季節に、と思われるのですが、かの「戦争法強行」以来、一年近く、ますます、この国のつまるところ、原発イエス」の政治が、危うく思われてならないのです。

一見、悪くない、この国の見えない深層部から秋風が生まれています。輝く川面に夢を乗せて

我らの未来に光とす川よ
われらの川よ

平和を守り 悠久の時を
流れゆく流れゆく モダウより

明治の頃末富亭は、大おぼあさんの代に中書島からここに移つてきたのです」とのことだ。察するに、江戸時代に繁栄した伏見港が、明治に入り淀川の船便が減り衰退していったあおりで、末富亭も新天地を求め、この稲荷山で参拝客相手の宿屋を始めたのであらう。近世になると行楽を目的に名山・霊場などへ集団参拝するためのものとして講が生まれた。稲荷山にある十数軒の茶店はほとんどがその昔は旅館業も営んでいた。全国から講を組んで訪れる信者を受け入れていたのだ。この末富亭の表の間には、其の頃毎年来ていたという横浜の生麦地域の講札が今も掲げられている。

最近では外人観光客相手の民泊が問題となつているが、グローバル時代の観光のあり方を根本から考え直さなければならぬ時代。講

評にも注目したものでした。勤勞者音楽祭^一は、学生時代に参加していたこともあつて、息の長い文化運動の底力を見たように思われました。大変に思えた曲の暗譜も何とか、間に合い、予定通り、演奏会の日を迎えました。庭の朝顔も、おめでとうと3輪も咲いてくれました。

個人的にはそんなふうだし、オリンピックも結構で、残暑もやがて爽やかな季節に、と思われるのですが、かの「戦争法強行」以来、一年近く、ますます、この国のつまるところ、原発イエス^二の政治が、危うく思われてならないのです。

一見、悪くない、この国の見えない深層部から秋風が生まれていきます。輝く川面に夢を乗せて

我らの未来に光とともす川よ
われらの川よ

平和を守り 悠久の時を
流れゆく流れゆく モダウより

明治の頃末富亭は、大おぼあさんの代に中書島からここに移つてきたのです^三とのことだ。察するに、江戸時代に繁栄した伏見港が、明治に入り淀川の船便が減り衰退していったあおりで、末富亭も新天地を求め、この稻荷山で参拝客相手の宿屋を始めたのであろう。近世になると行楽を目的に名山・霊場などへ集団参拝するためのものとして講が生まれた。稻荷山にある十数軒の茶店はほとんどがその昔は旅館業も営んでいた。全国から講を組んで訪れる信者を受け入れていたのだ。この末富亭の表の間には、其の頃毎年来ていたという横浜の生麦地域の講札が今も掲げられている。

最近では外人観光客相手の民泊が問題となつているが、グローバル時代の観光のあり方を根本から考え直さなければならぬ時代。講のお客時代とは全く様子が変わつてきている。

京都&東山 ぶらりピカリ

70

七条通 ⑰

七条通
り北山

十条通間の、基盤横線状の大通の
一つであるが、六・七条通りは、

奥ゆかし、三・四・五条通り程有
名ではない。が、豊臣秀吉公が天

下人で有った時代。伏見城と結ぶ
本町 伏見 街道出来て、正面通

り東に 京大仏殿 が造営された。
それで近くには、大工等職人が多

く住み 茶屋・塗師屋・鍵屋・棟
梁一等の町名に、京都博物館前の

大和大路通に面する元 大仏殿
の大石垣は今も有り、近くの 松

原署は 大仏交番所」と 大仏郵
便局」の名前で使われている。

七条通りの東の突当たりにある、
智積院 あしゅいん は全国三千

の末寺を擁する真言宗智山派 ち
んこんしゅうちんさん はの総本山。

その東側の坂道は、東山三六峰の
一つ 阿弥陀が峰」通じる。その

途中に、幼稚園く大学院である
京都女子学園」があり、朝夕、

女子生徒、学生
の大軍がワンサ

と通る。以前は
『吉 神社』さ

の坂」だったが、
今は、女坂おんな

ざむが呼び名となっ
ている。

日本の何処かに男坂は、有るだろうか?
その坂を更に東へ、突当たりの石



豊国神社」跡地。
蛇足ではあるが、私等の子供時代
は、殆ど家の外で遊んだ。鴨川や、

東山 一帯が 遊び場、プールが
無く、阿弥陀ヶ峰の北に有る 稚

児ヶ池」泳いだ。パンツが藻の色
に染まるので、スポンポン」で。

前戦争中は、その北の六条山に
防空監視塔」が有り、太閤廟の

南北に高射砲が2門。戦後知事
だ」その為に、東山 一帯が立入禁

止で 遊び場」では無かった。
が、皮肉にも、殆ど米空軍機の被

害を受けなかった京都で、高射砲
陣地から数百米しか離れていない、

東山区 馬町」が空爆され、死者
負傷者多数と家屋が破壊された。

京都は空襲をされなかった通説に
抗して、先年その地の修道小学校々

内に多くの方々の寄付金で 馬町
空襲の地」刻した碑が建立出来た。

やと、京都の前戦争の あと始
末」が完了した。

そして、水族館の続いて 鉄道
博物館」も出来た。崇仁小学校跡

に 美大」が戻って来る。JRの
駅も七条通りに出来ると聞く。な

れば、京都一の大通りになるだろ
うし、そうしたい!!。

七条大橋 毎月7月に掃除をしているも、
元々の姿にしたいなあ! である。

市電が走った 京都を巡る

67

福田静二



京都北部
の交通の要
衝 烏丸車

庫前を登車した市電は、北大路通を
東へ向かいます。家並みの向こうに

は、裾野を伸ばした比叡山の姿がき
れいに見えてきます。

両側にはアーケードのある賑やかな
商店街が続いています。大型スーパー

のなかった市電の時代、さまざまな
業種の商店が並び、今よりもっと賑

やかだった記憶があります。小学校
時代、転校して来た友人の実家がす

ぐ南側にあり、よく自転車で出かけ
たものでした。家から三キロほど、

小学生の身には、自転車乗りはらよっ
とした冒険でした。

やがて交差するのが加茂街道で



比叡山をバックに
北大路橋を渡る市電

五月に行われる葵祭りの行列は、下
鴨神社から、ここを通過して上賀茂神

社へと向かいます。そして、賀茂川
に架かる北大路橋を渡ります。市電

の開通に合わせて、昭和八年に架橋
されたコンクリート製の橋で、長さ

九十六メートルあります。先ごろ改
修されて、戦後に供出して失われた

灯籠風照明の復元やバルコニーの設
置も行われました。

北大路橋を渡り終えて、到着する
のが、植物園前」の停留場です。賀

茂川沿い少し歩くと、行き着くのが
京都府立植物園で、市民の憩いの場

として四季を通じて、いつも賑わい
を見せています。

大正十三年、周囲に人家もなかつ
たこの地に、大正天皇の御大典を記

念して、日本で最初の本格的な公立
植物園 現在の京都府立植物園が誕

生しました。北は北山通、東は鞍馬
街道、南は北大路通の上手、西は賀

茂川によって区切られた、およそ二
十四万平方メートルの広大な敷地に、

四季折々の花が咲き、市民憩いの場
として親しまれています。

私のような戦後すぐ生まれた団塊
世代にとつて、植物園は、進駐軍の

社宅だった幼い頃の思い出もよみが
えります。第二次大戦後、京都に進

駐した米軍に植物園は接収され、家
族の住む住宅地に転用されます。も

ちろん日本人はオフリミットで、接
収が解除されて本来の植物園として

返還を受けたのは、昭和三十一年の
ことでした。三年かけて再整備され、

昭和三十五年四月に再オープンしま
す。その直後に植物園へ行くと、ま

だ白いペンキで塗られた京都で見た
ことも無いような洋風住宅が残って

いたことを覚えています。市電停留
場も、それまでの北大路橋から植物

園前に改称されます。

さて植物園の開園当時、市電は北
大路橋の西詰までしか開通しておら

ず、北大路橋の開通とともに東側へ
伸びることになります。それに先

立ち、昭和三年に植物園前と出町の
間を京都で初めて市営バスが走り出

します。現在の正門の前までバスが
来ていたそう、植物園 行く家族

連れも連れたことでしょう。諸説あ
りますが、これが、日本で最初の乗

り合いバスの始まりでもあるのです。
植物園周辺は、市電の廃止後、賀

茂川沿いの道が、半木 なからぎ
の道として整備され、とくに桜並木

が満開になるころには、賀茂川の流
れとともに、春の京都を代表する景

色となりました。

市電の最終日
植物園前は大賑わい、



酒屋で生きて 生かされて



第百十話

サカタニ スタート

向かい側の
『大黒湯』
の東側6

坪程の債務超過の会社を引継ぎ、
暫く其処は、人任せで営業を続け
た。営業数字は管理していたが危
さを感じ、空家になっていた我が
家(現在地)に、「株サカタニ」と

社名に変え移転した。家主は父で、
さすがに権利金は零だった、家
賃は世間並より「やや少な目」で
払うでスタートした。

マダ私は、酒問屋役員、店全般
責任者で働きながら。有る時、取
引先だった「藤井大丸」さんから
「カナダ展」の催し手伝いを頼ま
れ大阪の「丸紅」に相談に行つた。

が、ビルの周りは「主婦連」の女
性達が取り囲んでいた。掻きわけ
て担当者で打合せと商談後、「な
ぜ主婦連が？」と問うた。「政府
管理だった米の闇取引の抗議デモ」
だと言う。付け加え「あんな事を
なさつてるが、近々、物資不足で
大変なことが起こる」と言い「石
油ショック」を予言した。そんな
馬鹿なことと思ひ聞き流した。

問屋では仕入れも担当していた、
それまでとは急変、「注文数を減
らせ」と言い出した。「予言が来
た！」と直感。空家だった我が家
に、砂糖、油、醤油等々大量に商
品を抱えた。そして間もなく

石油ショックが来た！・殆どの商品
が値上がりし品不足。多くの業者
さんは、品不足でお困りになった
が、我社は、「迷惑をお掛けをせ
ず、同時に値上げも出来た。

お陰で、お得意先に喜ばれ、「債務
超過」は解消。棚上げ債務も一掃
し、卸問屋を退職、「店」の移
転もその勢いのなかで出来た。42
才の厄年は良い年になった。

小さな変化でも、大きな変動を
知らせて呉れると、情報の大切さ
を学んだ。私にとつて、石油ショッ
クは奇跡的ショックだった。宗教
家だった祖母は「神さんはチャン
と見て下さる。呑み込めない様な
棒でも。辛い我慢すれば呑み込め
る。それが辛抱と言う棒や」と、
今の店を開店した私を励ましてく
れ、十日後の十月十日に急死した。

秋の話題と いたしましう

月三天

月の中には兎がい
る」と言いますね。昔そう教え
られて探したものです。ただ、
そういう模様に見える「だけ
で、本物の兎がいる」わけでは
ないのに、小さいながら一生
懸命起きて、夜の夜空を眺めて
います。意味を理解してから
は、なるほど、そのように見
える」と頷けます。しかし、見
えない時もあります。他の国で
は、女性に見えたり壺に見えたり
するのと同じように、これは考
え方の違いでしょうか？かしこ
ながら中国でも、月の中には兎
がいます。日本のお餅つきをい
ふこと。日本の兎はお餅つきを

七条大橋の 上には 編纂史子



大切にしてい
うとするボラ
ンティア活動
七条大橋をキ
レイにする会
では、毎月七
日に七条大橋
の清掃活動を行
う。清掃活動
を行つていま
す。フリーパ
ッドの地元で
この運動が起
こつて、今年
の四月、ちよ
と十回目を
清掃活動の日
に参加を
させていた
この月(あ
いにくの雨
で、清掃活
動そのものは
できず、その
分、その後の
懇親会
で橋について
学習、また
七条大橋に
対する思い
や意見を伺
うことがで
き、改めて
自分たちの
身近にある
この橋の存
在を認識し
た。慣れ親
しんだこの
橋に、自分
たちも何か
したい。そ
う考えたフ
ラ

ウクレレギターのデュ
オ、フリーパッドは、東
山七条出身です。プロデ
ビューする直近まで実家
に住んでいた二人にとつ
て、七条界隈は子供の頃
はもちろん、大人になっ
てからもある種の遊び
場でした。
七条通りにかかる橋
七条大橋は、フリー
パッドの二人にとつて、生
まれた時から当たり前
のように存在し、特に気
をとめることもなく日常
を渡ってきた橋です。この
橋がどれだけの価値ある
ものであるか、二人が知
り得たのはつい最近のこ
とです。
サカタニさんを発起
人とする、七条大橋を
して、中国の兎は葉作りを
しているそうです。どちらの兎
もたくましいですね。
兎は、あんなに小さいですが、
物語の中ではその通りたくま
しく描かれることが多いです。
かちかち山や、おじいさんが帝
釈天だった兎と狸と狐の話。鳥
獣戯画にも出てきます。あとは
兎と亀、因幡の兎...これら
は、ちよと違いますね。兎に
角、兎は物語の中で色々な形
で登場し、意外と「あつ」と言
せる存在だったりします。
さて、その兎が住まう月のお話
をいたしましょう。九月に入る
と十五夜がございます。なぜ九
月十五夜が「十五夜」といわれ
るのでしょうか？そもそも、十五
夜とは満月の事。満月は月に一
度来るものですよね。その中で

編集後記

▽平7年(1996)
マダ、酒屋が、免
許制度でガッチリと保護されて
いた時代。何れ自由競争時代が
来ると、親しい酒屋8店、お酒
の共和国「グループ」を創った。
▼そして、共同出資した酒屋
との酒場をつくり、同時に、お
客様とのパイア役で、まいどう
名の新聞を創刊した。が、残
念だが結末が崩壊し、出資金は
全員で損して整理した。
▼新聞は私、残余の債務は、
私ともう一人の方で処理をした。
当時はマダ、酒免許の縛りが強
い時代。酒屋は、奥方の協力で、
さして苦勞をせずに、儲かった時
代でもあった。
▼わが社は、既にファミマに加入
営業成績は安定していた。只、こ
来店だけでなく、配達も考慮に
入れて、今も継続している、お
客様の友の会を創り、このとん
からりんも続けている。▼我が
商売の初代の祖父喜一郎は、常々
商売は牛の涎と私に言った。
当時の運送は馬車や牛が引つ
張る牛車主流だった。
▼自動車は、溢れている今の人
には、理解できないだろうが、牛
は、絶えず途切れそう途切れ
ずに、細く繋がる「涎」を流しな
がら、荷車を引っ張って歩いてい
た。
▼その「涎」を例にして、続けるこ
との大切さと、商売の基本姿勢
を孫の私に教えたのだろう。
毎年祖父の命日9月1日墓前で、
その言葉を思い出し、過ぎし1年
を振り返る。
▼そして、又思う。他の動植物
類に牛・鯖・松に「間」を付け
ない、人だけに「間」を付けて呼ぶ。
昔からと言つてしまふは済むこと
だが、この欄を書いていて気にな
った。誰か教えて！